

しゃぼんだま

にじ組

にじ組では、この時期になってもしゃぼん玉遊びが続いています。遊びを継続することで、友だちと試行錯誤したり成功を喜んだりと様々な子どもたちの姿が見られました。そこで、今回は「しゃぼん玉」という一つのことで成長していく子どもたちの姿に目を向けてみました。

11月6日

この日は大きなしゃぼん玉づくりに挑戦をしました。本に書いてあった「大きなシャボン玉を作る液」を参考に液作りを開始。

出来あがったしゃぼん玉液を見ると、なんだか大きなしゃぼん玉が出来そうな予感が！！ワクワクした表情でしゃぼん玉を見つめていました。

10月24日

ストローを吹くと、小さなシャボン玉がたくさん飛び出しました。シャボン玉を追いかけて、園庭を走りまわる子どもたち。そんな中、R君はじっくりゆっくりとストローに息を吹き込んでいます。どうやら、R君は遊びの中でゆっくりと息を拭くとしゃぼん玉が大きくなることに気づいたようです。慎重に焦らず集中して息を吹き込むR君。すると、R君の顔くらいある大きさのしゃぼん玉が出来ました！「みて！すごいよ！」とできあがったしゃぼん玉を大切に眺めるR君。このことがきっかけとなり、次は「もっと大きいしゃぼん玉作りたい！」と意欲が芽生えました。

そーっと息を吹くといいよ

顔より大きいよ！！

ゆっくりしたほうがいいかも！

ふーってするとおおきくなる！

割りばしと紐で作ったしゃぼん玉生成器を使うと少し大きなシャボン玉が出来、楽しくてたまらない様子の子もたち。もっとダイナミックなしゃぼん玉を作りたいと思ったようで、なんと「みんなが入れるくらい大きなシャボン玉を作りたい！」という提案が！！出来るかな～！？

11月13日

この日は風が強く吹いていました。「今日もしゃぼん玉しよう！」と意気込む子どもたち。保育者も「風が強い日にすることで新たな気づきがあるのでは、、、♡」と思い、しゃぼん玉コーナーを設定しました。いざ、しゃぼん玉づくりに挑戦しましたが、、、やはり風が強く、

諦めず

粘り強く

何度も挑戦

風が吹くと、「割れちゃうから」と風よけの壁になってくれたS君。

しゃぼん玉が割れないためには「風が強いとよくないこと」「勢い良く体をひねると割れてしまうこと」「風がふくと風よけのために壁になろうと考えたこと」「しゃぼん玉を作っている友だちの役に立ちたいと思ったこと」子どもたちは遊びの中で様々な学びや成長があったように感じます。

また、「なんで大きくなるんだらう？」「どうしてすぐに割れるのかな？」と、皆で不思議に思ったことを考えることも楽しんでいました。そんな中、Aちゃんがお家で「割れないしゃぼん玉の液」を調べてきてくれました。次は、Aちゃんの調べたシャボン玉液で大きなしゃぼん玉に挑戦したいです。

Aちゃんが調べてくれたしゃぼん玉液

- ・沸騰させた水 1200ml
- ・洗たく糊 600ml
- ・食器用洗剤 150ml
- ・グリセリン 60ml